目次

第１　審査の対象 1

第２　審査の期間 1

第３　審査の方法 1

第４　審査の結果　 1

第５　審査の意見　 1

**水道事業会計**

１　業務状況 5

２　予算の執行状況 7

⑴　収益的収入及び支出 7

⑵　資本的収入及び支出 8

⑶　その他の事項 9

３　経営状況 10

⑴　収益の部 11

⑵　費用の部 13

⑶　供給単価と給水原価 15

４　財政状況 16

⑴　資産の部 16

⑵　負債及び資本の部 18

５　経営分析 20

**工業用水道事業会計**

１　業務状況 25

２　予算の執行状況 26

⑴　収益的収入及び支出 26

⑵　資本的収入及び支出 27

⑶　その他の事項 27

３　経営状況 28

⑴　収益の部 29

⑵　費用の部 30

⑶　供給単価と給水原価 31

４　財政状況 32

⑴　資産の部 32

⑵　負債及び資本の部 33

５　経営分析 34

**簡易水道事業会計**

１　業務状況 37

２　予算の執行状況 38

⑴　収益的収入及び支出 38

⑵　資本的収入及び支出 39

⑶　その他の事項 40

３　経営状況 41

⑴　収益の部 42

⑵　費用の部 44

⑶　供給単価と給水原価 45

４　財政状況 46

⑴　資産の部 47

⑵　負債及び資本の部 48

５　経営分析 50

**高岡市民病院事業会計**

１　業務状況 55

⑴　業務実績 55

⑵　科別入院患者数比較表 56

⑶　科別外来患者数比較表 57

⑷　科別入院診療収入比較表 58

⑸　科別外来診療収入比較表 59

⑹　手術及び検査状況 60

⑺　処方箋の状況 60

⑻　調剤の状況 60

⑼　給食の状況 60

⑽　部門別100床当たり職員数 60

⑾　職員(医師・看護部門)１人１日当たり患者数・診療収入比較表 61

⑿　検査の状況 61

⒀　材料費 62

２　予算の執行状況 63

⑴　収益的収入及び支出 63

⑵　資本的収入及び支出 64

⑶　補助金等の状況 65

⑷　その他の事項 66

３　経営状況 67

⑴　収益の部 68

⑵　費用の部 69

４　財政状況 70

⑴　資産の部 70

⑵　負債及び資本の部 73

５　経営分析 74

凡　　　　例

１　文中及び各表中の金額は、原則として千円未満を四捨五入して表示した。

２　文中及び各表中の比率は、原則として小数点以下第2位を四捨五入して表示した。

　したがって、比率の合計と内訳とが一致しない場合がある。

３　文中に用いるポイントとは、パーセンテージ間又は指数間の単純差引数値である。

４　各表中の符号の用法は、次のとおりである。

　　「 0.0 」　　　該当数値があっても0.05未満のもの

　　「 － 」　　　該当数値がないか、又は数値があっても±10,000以上のもの

　　「 △ 」　　　マイナスのもの

５　各事業会計中「２予算の執行状況」の数値は消費税及び地方消費税を含み、その他の財務諸表の数値は消費税及び地方消費税を含まない。